



2012年12月期（第62期） 第2四半期決算説明会資料

2012年8月29日

株式会社 **妙徳**

大阪証券取引所 JASDAQ市場 証券コード6265

目次



- 2012年12月期第2四半期決算説明
 - 2012年12月期業績見通し、配当方針
 - 今後の経営戦略
- 添付資料
- ・ 2012年12月期第2四半期決算短信
 - ・ 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ
 - ・ 会社案内
 - ・ 季刊情報誌 カムトフォーラム

1. 2012年12月期 第2四半期決算説明

2. 2012年12月期業績見通し 配当方針

3. 今後の経営戦略

2012年12月期第2四半期決算概要

- 自動車業界、スマートフォン業界など一部回復の動きがみられるも、当社主要販売先である半導体製造装置業界、液晶パネル関連業界の需要の低迷が、昨年下期より続き、依然として厳しい経営環境で推移。
- 売上高は事業計画を若干上回り達成。
利益面では、海外部品調達拡大、海外生産移管等による材料比率の改善、売上構成比の変化、操業度・生産性の向上経費削減等により事業計画を大きく上回る。

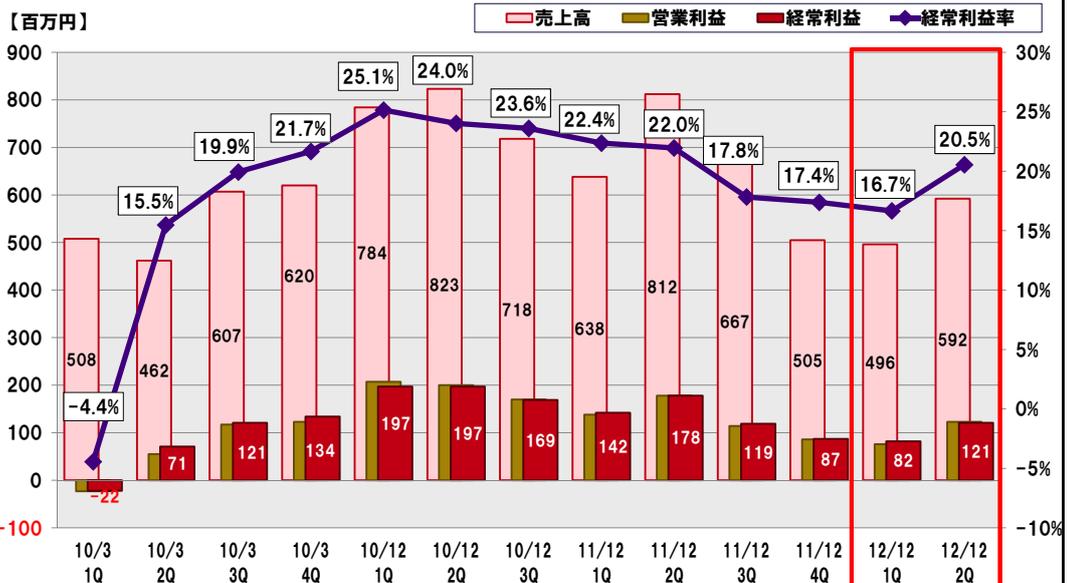
連結損益計算書



単位:百万円

	前期第2四半期 累計実績	当期第2四半期 計画	当期第2四半期 累計実績	増減(%)	
				前期比	計画比
売上高	1,450	1,072	1,089	△24.9	+1.6
売上総利益 (売上総利益率)	752 51.9%	525 49.0%	595 54.6%	△21.0	+13.3
営業利益 (営業利益率)	317 21.9%	127 11.9%	200 18.4%	△36.8	+56.8
経常利益 (経常利益率)	321 22.1%	128 12.0%	204 18.8%	△36.3	+59.1
特別損益	△22	-	△5	△22.8	-
税金等調整前当期純利益	298	128	199	△33.2	+55.1
当期純利益 (当期純利益率)	187 12.9%	75 7.0%	126 11.5%	△32.4	+68.0
1株当たり当期純利益	23円64銭	9円79銭	16円46銭	△7.18円	+6.67円

連結四半期毎業績推移

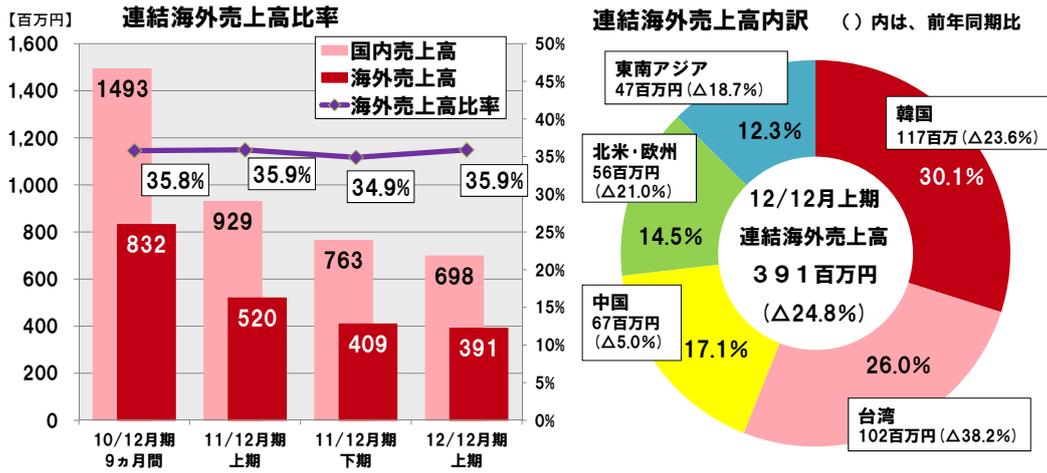


*2010年12月期は決算期変更とともない9ヶ月間の変則決算となっております。(2010年4月~2010年12月の9ヶ月間)

連結海外売上高



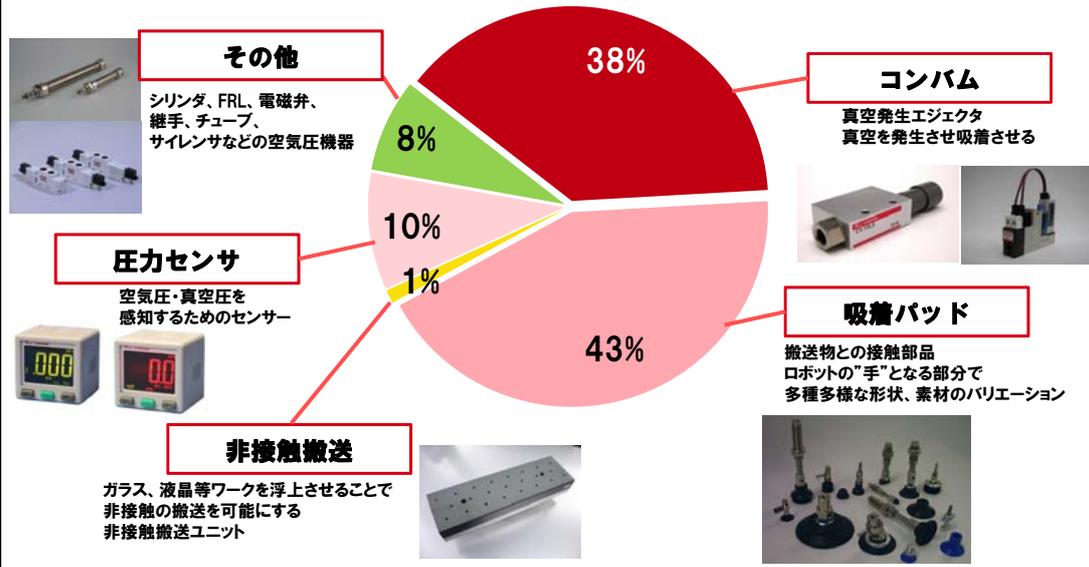
国内海外ともに売上高減少により、海外売上高比率は、ほぼ横ばい
 妙徳韓国においては上期計画の大型案件が第3四半期以降へ持ち越し



連結製品群別売上構成



2012年12月期上期 製品群別売上構成比率

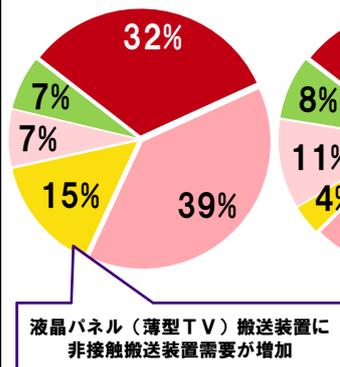


連結製品群別売上構成推移



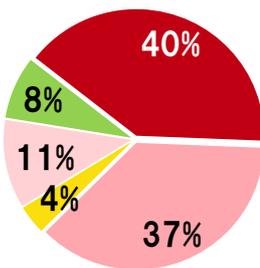
新規装置需要の低迷によりコンバムの売上構成比率がダウン
自動車関連業界の設備投資回復及び設備稼働率向上により、
吸着パッドの売上構成比率がアップ

10/3月期

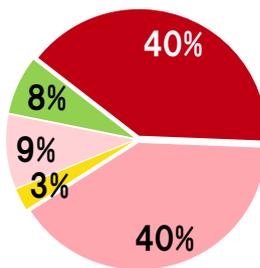


液晶パネル（薄型TV）搬送装置に
非接触搬送装置需要が増加

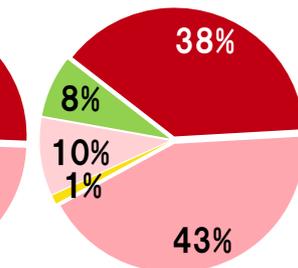
10/12月期



11/12月期

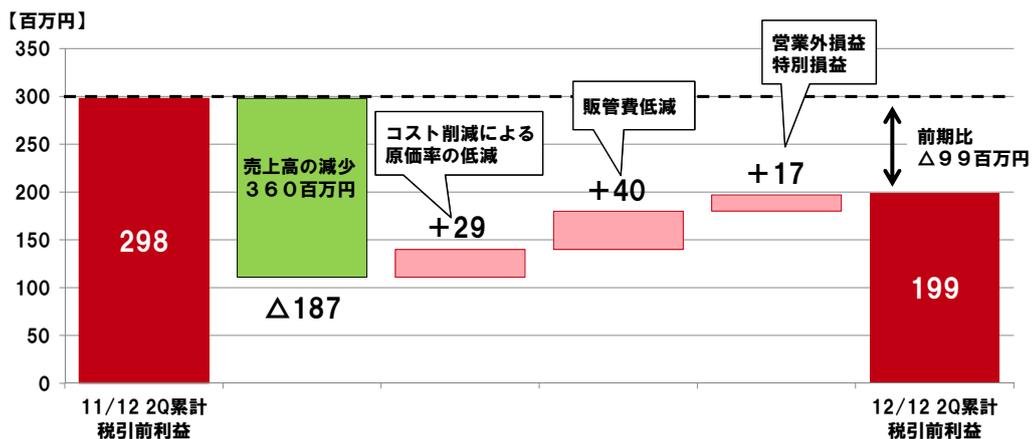


12/12月期 上期



■ コンバム ■ 吸着パッド ■ 非接触搬送
■ 圧力センサ ■ その他

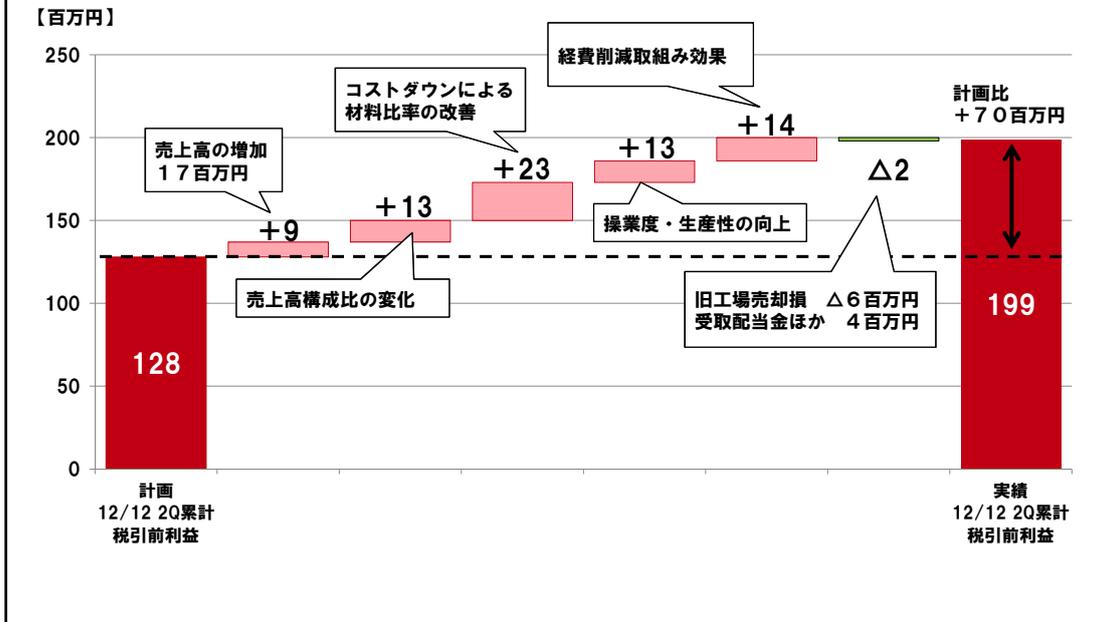
利益増減要因 対前年同期比



【販管費低減の主な要因】
人件費の減少 26百万円
その他販売管理費の減少 14百万円

【営業外、特別損益の増減の主な内訳】
災害損失の減少 21百万円
固定資産売却損の増加ほか △4百万円

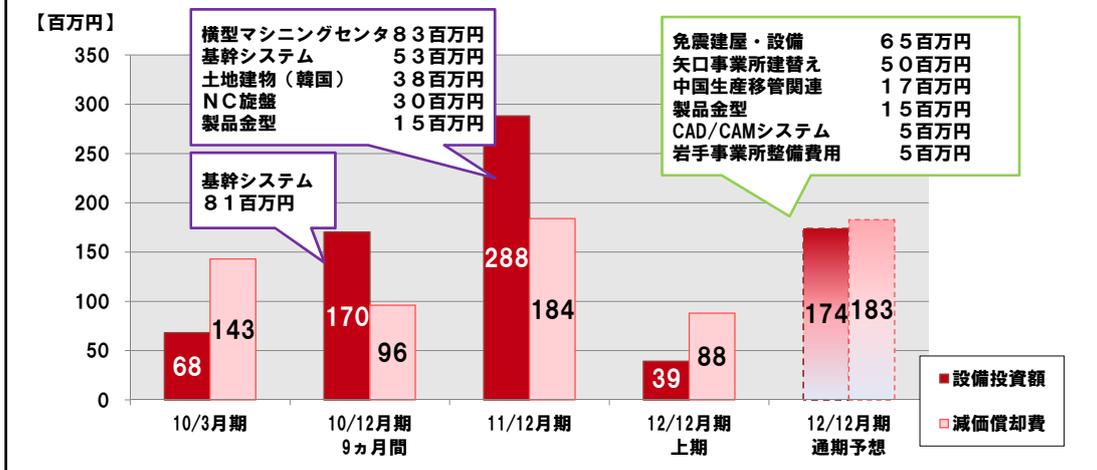
利益増減要因 対計画比



連結設備投資額、減価償却費



岩手事業所へ免震建屋建設 上期投資額27百万円
2012/9月竣工予定
下期、事業所建替え、海外生産移管への投資を計画



連結貸借対照表



単位: 百万円

	2011年12月末	2012年6月末 前期末比		主な増減の要因
流動資産	1,464	1,592	+128	受取手形及び売掛金 +10百万円 未収入金 +19百万円
うち現預金	414	513	+99	
固定資産	2,203	2,111	△92	1年内返済予定長期借入金 △104百万円 支払い手形及び買掛金 +20百万円 未払法人税等 +56百万円
資産合計	3,667	3,704	+36	
流動負債	349	318	△30	長期借入金 △20百万円
固定負債	286	268	△17	
負債合計	635	586	△48	
純資産合計	3,032	3,117	+84	
負債純資産合計	3,667	3,704	+36	
自己資本比率	82.5%	83.9%	+1.4%	

連結キャッシュフロー



単位: 百万円

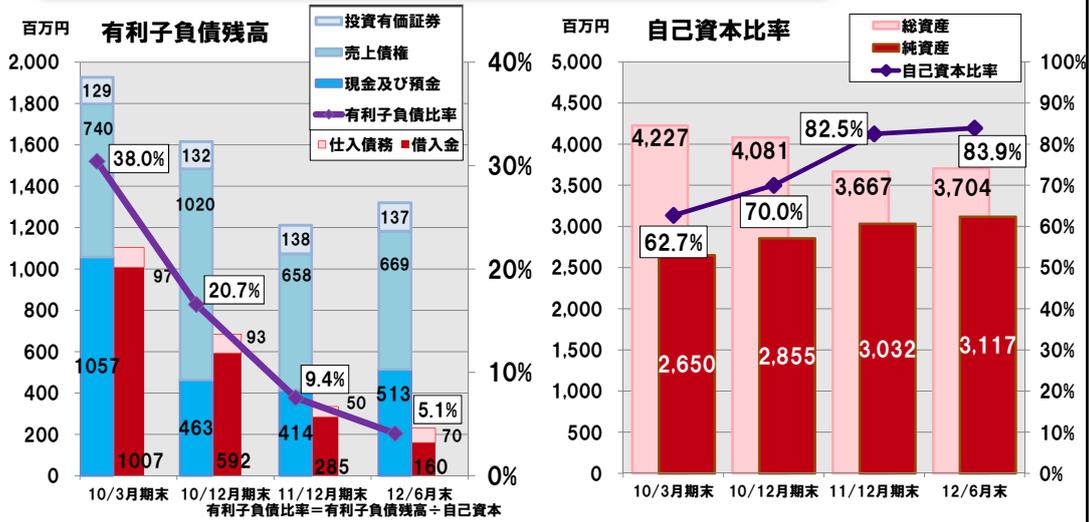
	11年12月期(前期) 上期実績	12年12月期 上期実績	主な内訳
営業活動によるキャッシュフロー	372	301	税引等調整前当期純利益 199百万円 減価償却費 +88百万円 仕入債務の増加 +20百万円
投資活動によるキャッシュフロー	△149	△80	固定資産の取得 △40百万円 定期預金の預入 △31百万円
財務活動によるキャッシュフロー	△226	△167	長期借入金の返済 △125百万円 配当金の支払い △38百万円 自己株式の取得 △3百万円
現金及び現金同等物の増減額	△0	+54	
現金及び現金同等物の期首残高	415	401	
現金及び現金同等物の期末残高	414	456	



連結財務状況



借入金残高160百万円 2014年3月完済予定
2012年6月末 自己資本比率 83.9%



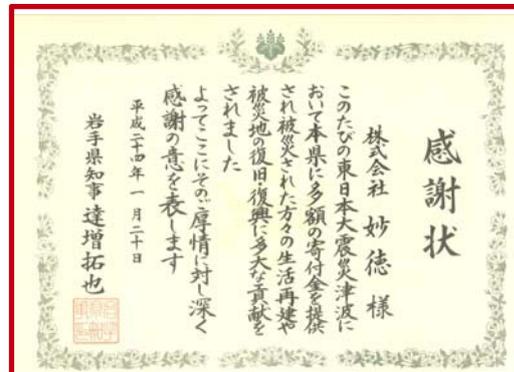
寄付金の拠出



岩手県が取り組む東日本大震災復旧復興事業への寄付金拠出

- 拠出金額
単体売上高の0.5%相当額を6カ月毎に拠出
- 拠出期間
2011年6月から復旧・復興事業がほぼ完了するまでの間を目標(約10年間を想定)
但し、6カ月単位毎に取締役会で拠出継続可否並びに拠出金額の判断を行う
- 2011年度実績 1,220万円
2012年上期 490万円

累計 1,710万円を拠出



【岩手県よりの感謝状】

1. 2012年12月期 第2四半期決算説明

2. 2012年12月期業績見通し 配当方針

3. 今後の経営戦略

2012年12月期連結業績予想

単位:百万円

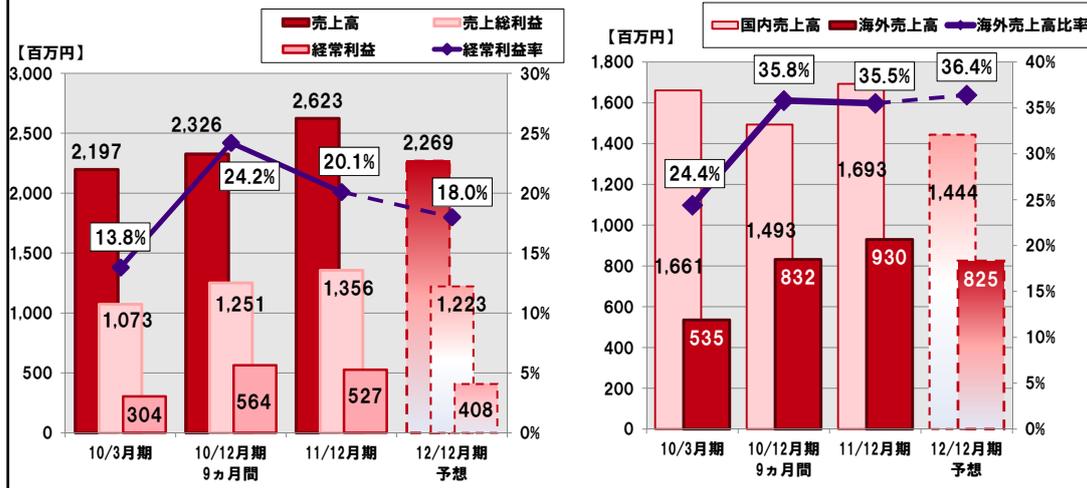
	2011年12月期 実績	2012年12月期 当初予想	2012年12月期 修正予想	増減(%)	
				前期比	当初予想比
売上高	2,623	2,251	2,269	△13.5	+0.8
売上総利益 (売上総利益率)	1,356 51.7%	1,102 49.0%	1,223 53.9%	△9.9	+11.0
営業利益 (営業利益率)	518 19.8%	297 13.2%	404 17.8%	△22.1	+35.8
経常利益 (経常利益率)	527 20.1%	300 13.4%	408 18.0%	△22.6	+36.0
特別損益	△26	0	△42	-	-
税金等調整前当期純利益	501	300	366	△26.9	+22.0
当期純利益 (当期純利益率)	312 11.9%	179 8.0%	225 9.9%	△27.8	+25.7
1株当たり当期純利益	39円78銭	23円26銭	29円29銭	△10.49円	+6.03円

*「当初予想」は、2012年2月13日公表の業績予想値、「修正予想」は2012年8月2日に発表した予想値です。

2012年12月期連結業績予想



下期、依然として厳しい環境が継続。
国内売上、前期比85% 海外売上、前期比88%



配当について



配当方針：配当性を25%とし、株主の皆様へ安定的、
長期的な利益還元を行ってまいります。

	2010年 3月期	2010年12月期 (9ヵ月間)	2011年 12月期	2012年12月期 (予想)
中間配当	0円	7円	5円	4円 (実施済み)
期末配当	6円 (記念配当1円を含む)	3円	5円	3.5円
年間配当	6円 (記念配当1円を含む)	10円	10円	7.5円
1株当たり 当期純利益	22円01銭	38円75銭	39円78銭	29円29銭
配当性向	27.3%	25.8%	25.1%	25.6%
ROE (株主資本利益率)	6.9%	11.3%	10.6%	7.3%

業績実績踏まえ、
計画2.50円から
4.00円へ増配

1. 2012年12月期
第2四半期決算説明

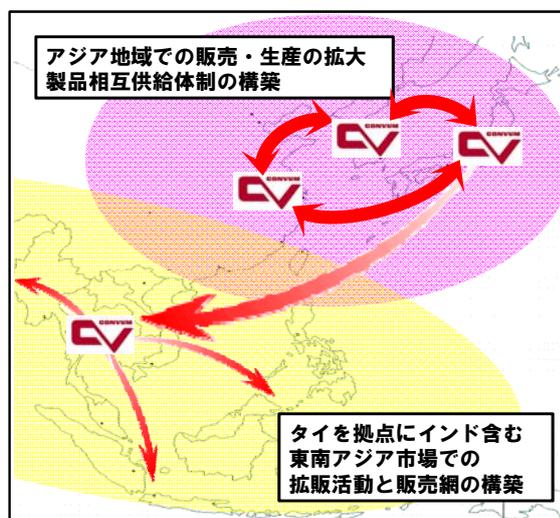
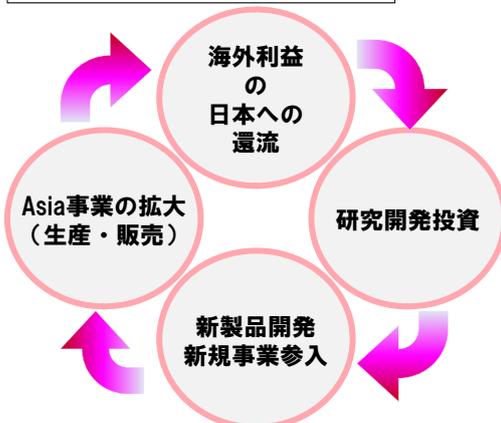
2. 2012年12月期業績見通し
配当方針

3. 今後の経営戦略

アジア事業拡大の加速

One Asia-One Market～アジア市場をひとつとした事業展開
2012年はそのための基礎固めの年度と位置付け

当社の目指す成功のビジネスモデル



アジア事業拡大の加速



アジア市場での販売拡大の取り組み

- ・空気圧機器国内市場は、円高の定着、製造業の海外移転等により今後、横ばいもしくは縮小方向
- ・アジア市場、特に成長する中国市場での拡販活動への注力

2017年までに、
中国の空圧市場規模は
2,000億円弱へ
(*当社予測)

海外生産移管を拡大し“地産地消”の体制構築

- ・市場地域での開発・製造・販売＝“地産地消”
- ・韓国：天安拠点（営業・物流・生産拠点）を開設
- ・中国：吸着パッド生産を移管
(現状は吸着パッドの仕上げ加工)
- ・生産移管の拡大によりコストダウンし、
市場での競争力強化

2012年9月開設予定
2013年年初
生産開始予定

2013年7月
生産開始計画

アジア事業拡大の加速



中国生産設備投資計画

- ・2013年、2億円投資にて中国生産拠点の確保及び設備投入
- ・2014年以降、3年間毎年1～2億円投資し、
吸着パッド及びコンバムを中国に生産移管



4年後の **Half Cost** を目標として
海外生産移管を拡大

ヒトのグローバル化



人材の確保と育成

- ・外国人留学生の採用
2011年 2名（実績）
2013年 7～8名（予定）
2014年以降も毎年、
5名前後の留学生採用を計画



*（）内は、
外国人社員数



日本で教育を行い
海外現地法人のリーダーとなる人材を育成

英会話教室の実施

- ・毎日、終業後に社内英会話教室を継続実施
- ・2年後には社内公用語を英語に統一



国内事業所の取り組み



生産拠点から研究開発拠点への転換

- ・海外生産移管にともない
新製品の研究開発および安定した品質維持を
最重要視した量産ラインの最適構築・立ち上げ



海外生産拠点へ移設

金型研究開発部門の立ち上げ

- ・2012年上期、金型開発部門を立ち上げ
- ・吸着パッド成型金型技術の確立
- ・将来はプラスチック成型及び材料・素材の研究開発
及び技術の確立



技術、ノウハウの自前化及びキャッシュアウトの防止
国内事業所空洞化の防止

新規事業、新製品開発

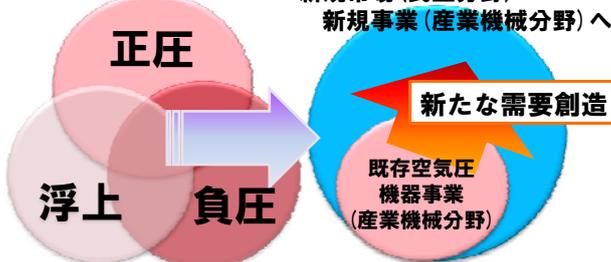


製品開発の取り組み

- ・製造原価半減に向けた、設計コストリダクション
- ・海外ローカルニーズに応える製品開発
例)「安価・簡単・丈夫」な製品
- ・当社の持つ3つのキーテクノロジーを融合した
需要創造型の新規事業の構築

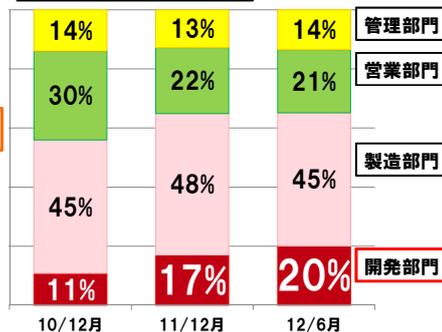
韓国にて切換え弁の開発・販売
2012年上期販売実績 4百万円

3つのキーテクノロジー



事業領域の拡大を目指す

単体部門別人員構成比



新規事業、新製品開発



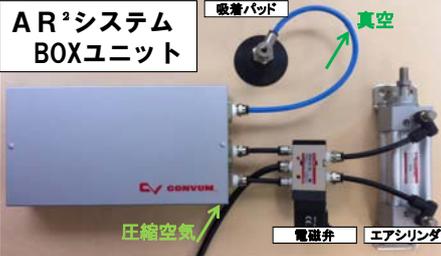
排気エア再利用システム AR²システム

従来使用していなかった
排気エアを再利用が可能
排気エアを使用することにより
エア消費量 (=電気料金) の削減

A社事例：
年間153千円の
電気料金削減

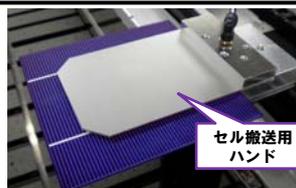
➡ 機器の複雑な接続が不要な
BOXタイプにユニット化

東京都中小企業振興公社
H24年度新製品・新技術開発助成事業に採択



セル搬送用ハンド

太陽光セル等製造工程
の需要に対応
ワークにかかるストレスを
極小化し搬送可能に



セル搬送用
ハンド



*当社予測

会社概要



会社名	株式会社妙徳（英語表記:Myotoku LTD.） 証券コード:6265
創立(設立)	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 中森俊雄
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	秋田、岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空霸陸機械設備(上海)有限公司（中国上海） 妙徳韓国株式会社（韓国ソウル） CONVUM(THAILAND)Co.,Ltd.（タイ国バンコク）
連結従業員数	120名(単体89名)
発行済株式数	8,285,000株(うち自己株式567,159株)
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQ市場

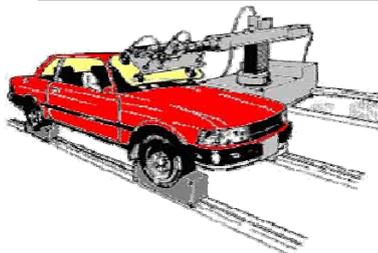
2012年6月30日現在

CONVUMって何？

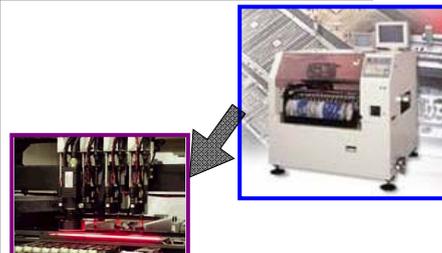


CONVUM(コンバム)は、圧縮空気を利用して真空を発生させる装置の当社ブランド名です。

コンバムは主として、各種製造工場における各工程の自動化装置において、対象物を吸着固定、吸着搬送するための把持装置として使用されております。



自動車フロントガラスの吸着



電子部品・半導体部品の実装

